

歴史とスポーツふれあいセンター及び堂山古墳群史跡広場 内部評価結果
(施設所管課による評価)

【評価対象施設】 歴史民俗資料館・ふれあいルーム・四条体育館・四条グランド・堂山古墳群史跡広場
【指定管理者名】 株式会社 アステム
【評価対象年度】 令和5年度
【施設所管課名】 産業・文化部 生涯学習課、スポーツ振興課

業務内容についての評価

歴史民俗資料館においては、4回の企画展を予定どおり開催し、展示関連事業として市内施設での出張展示、展示内容にあわせた講演会、ワークショップ、現地見学会やYouTube 配信をされました。また、市民学芸員活動についても、今年度から人数制限を解除し、5チームが独自の活動に取り組みられました。市民学芸員全体の例会も行われ、新型コロナウイルス感染症のために縮小していた活動を段階的に拡大させていくとともに、昨年に引き続き学芸員体験講座を開催し、新規の市民学芸員の養成に取り組みられました。今後も、生涯学習課や様々な施設・団体と連携しながら、幅広い世代の市民に関心を持っていただくため、様々な地域・時代を取り上げた展示や講座等を企画・実施するとともに、市民参加型のワークショップ等の事業についても積極的に取り組まれることを期待します。

堂山古墳群史跡広場についても「夜のナイトツアー」や講演会を開催されるなど史跡のPRに努められました。今後も、堂山古墳群の存在と歴史的価値を広く市民に伝え、郷土愛を育む取り組みを推進していかれることを期待します。

ふれあいルームにおいては、図書館や公民館との共催事業のほか、消防署と連携した「乳幼児向け救急救命講習」や障害福祉課と連携した「手話で学ぶ救命講習」、親子で参加する「宝石石鱈をつくろう」、音楽コンサートの「オカリナデュオコンサート」、大人を対象とした「大人のぬり絵体験」の開催など、生活や健康に密着した事業に取り組まれ、いずれも参加者から高評価を得ることができました。

令和4年度から積極的に取り組まれている学校との連携では、令和5年度は小学校12校の社会見学と4校の出張授業を行われ、深野中学からは2名の職場体験を受け入れられました。また、四條畷学園と連携した「コグニサイズ（認知症予防運動）」の実施や、大学との連携活動として博物館実習の受け入れも実施され、今後も利用者のニーズを的確に把握し、幅広い世代を対象にした体験事業や講座等に取り組まれることを期待します。

体育施設において、「室内スポーツ盛合せ」、「チャレンジバスケット」、「親子バスケットボール」などのスポーツ事業に注力されたことは、親子で参加できるなど初心者やスポーツから離れていた人が楽しめるようにスポーツをするきっかけづくりとして、スポーツ活動が維持されていたことは評価できます。また、小学生を対象にプロアスリートとコーチにより開催されたサッカー教室についても、子どもたちの参加意欲を高め、スポーツに対する関心を持続させる取り組みに尽力されたことを評価します。そして新しい取り組みとして市内体育施設3施設での連携事業については、単に一施設の事業にとどまらず、北東部地域のスポーツ振興に寄与されるなど好事例を創造していただきました。次年

度以降も新たな取り組みに期待します。

施設維持保全業務や施設修繕については、仕様書にもとづき適正に実施されてきました。建物の老朽化が進行しているため、修繕必要箇所の把握と迅速な復旧修繕を行うとともに、利用者に安全快適に使用していただけるよう備品等の日常的な点検についても遺漏なく行ってください。

利用者満足度について評価

利用者アンケートでの施設全体の総合評価では、満足・やや満足・ふつうを合わせて、令和4年度が78%だったのが令和5年度は95%と大幅に向上しており、指定管理者として利用者満足を得るためにサービス向上など多面にわたり努力されていることが伺えます。この結果をさらに向上できるように、今以上のきめ細かな施設の維持管理に努めて頂くとともに、利用者ニーズを分析し新しい利用者サービスの導入を期待します。

また、今後もしピーターに満足していただけるような質の高い事業を実施するとともに、館内掲示の強化や SNS 等を活用した情報発信により、施設の認知度の向上と新規利用者の増加に努めてください。

体育施設については、施設の不備が活動中の大きな事故につながる可能性があることから、日頃から施設設備等の点検・管理に努めるとともに利用者の安心・安全な使用となるように努めてください。

収支状況について評価

収入につきましては、利用料金収入は減少しましたが、駐車場利用料金や事業収入の増加などで、指定管理料との合計収入は増加しています。

支出については、最低賃金の上昇で清掃・警備・保守点検などの費用の増加と、令和4年度から続く光熱費の高騰などにより支出の増加になっていますが、体育館照明の LED 化や、室内の設定温度の徹底した管理を実施するなどの対策を実施し経費の節減に取り組んでおられます。

令和5年度は黒字となっておりますが、令和6年度も人件費や光熱費等の物価上昇が予想されますので、稼働率向上による増収を図りながら、引き続き健全な収支決算となるよう努めてください。

総合評価

本市の文化・歴史に対する市民の誇りを醸成し、次世代に継承していくうえで、歴史民俗資料館の役割はきわめて重要です。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類になったことで参加人数等の制約は無くなり、指定管理者がこれまで蓄積してきた豊富な経験とノウハウを活かし、幅広い世代を対象にした企画展・講座や市民学芸員活動、他施設・学校等との連携事業を実施されたほか、学校との連携を積極的に取り組まれたことを評価します。

今後も、常設展示の定期的な更新や情報発信の強化により、リピーターだけでなく新規来館者にも満足していただけるよう努めてください。

また、ふれあいルームでは、創意工夫による自主事業を行った結果、参加者から高評価を得ることができました。今後も、生涯学習に対する市民のニーズの把握に努め、関係施設・団体とも連携しながら

ら、幅広い世代に満足していただける魅力的な事業を展開されるとともに、SNS等を活用した情報発信を強化することにより、新規利用者の増加にも一層努めてください。

次に、グラウンド・体育館は、地域のスポーツ振興の基幹施設として、市民にスポーツへの参加の機会の提供と健康・体力づくりの増進を担う重要な施設であります。

個人参加型スポーツ事業を中心に事業運営を行うことで、様々な年代の方にスポーツをする機会を提供されたことで市民の健康増進に繋がったことは評価できます。

体育館の利用者数は増えているものの、体育館、グラウンドともに利用率が下がっていることもあり、一流スポーツ選手と市民との交流ができる事業等を行うなど魅力ある事業を実施することでPRを行い、利用率の向上に繋がることを期待します。また、合わせて市内体育施設3施設での連携事業のような新たなチャレンジにも期待します。

今後も市民のスポーツニーズの把握に努め、幅広い年代が参加できる事業や地域に密着した事業やイベントをはじめ、市民が少しでもスポーツに関心を持てる取り組みを進めることで、さらなる利用促進につながることを期待します。